

# 帯広市大空地区モビリティ社会次世代人材育成事業（北海道帯広市大空町）

## 事業実施主体

【共創プラットフォーム】

帯広市大空地区モビリティ社会次世代人材育成事業

【実施主体】十勝バス株式会社

【共創パートナー】帯広市立大空学園義務教育学校

日野自動車株式会社

IAV株式会社

株式会社ユニ・トランド

KPMGコンサルティング株式会社

## 地域課題

十勝・帯広エリアでは、以下に示す課題により、バス利用者離れが進み、公共交通事業の持続性確保が難しくなっている。

- ・ 自家用車依存、公共交通への関心の薄れやバス利用方法の理解不足、高齢化によりバス停への移動困難者増加。
- ・ 地域の商店・飲食店・医院の撤退・廃業により、大規模商業施設や基幹病院等への移動が発生し、より一層、自家用車への依存度が高まる。

## 実証事業の内容

日野自動車/IAV/ユニ・トランドの3社による講義・ワークショップ形式での先進・先端の技術・手段を活用した社会課題解決を題材に講演やワークショップを行う。

## 今後の展開

大空学園の「大空市民学」のカリキュラムと連携したプログラムとして継続的な活動にシフト。生徒から生まれた良いアイデアの実証計画の実行に向けて、十勝バスを始めとした各社が協力して実証実験事業の企画推進を進める。

## 事業実施地域・手順

【実施地域】北海道帯広市大空町

【手順】

- ① 受講する生徒へ事前アンケートを実施して集計
- ② アンケート結果も踏まえて講義資料を準備するとともに、自動運転のシミュレーション環境、デジタルサイネージ利用環境、マルシェバス・客貨混載バス・おぞライナーの乗車体験用を準備
- ③ デジタルサイネージの使い方をレクチャーし、利用方法の周知目的兼ねる路線バス・おぞライナーの体験動画を生徒と共創してデジタルサイネージのコンテンツとして作成
- ④ 乗車体験会を実施し「自動運転が走る大空の未来像」について生徒との共創のワークショップを開催
- ⑤ 学校関係者や大空自治会の方に向けた成果発表会を実施

## 事業スケジュール

項目	2023	2024		
	12	1	2	3
補助金交付申請				
①事前準備・協議				
②講義の実施				
③ワークショップの実施				
④振り返りと実証計画策定				
実績報告				